

表2 指導の実際 合同朝の会学習指導案(一部)

場所: 体育館

時間	指導の流れ	指導上の留意点
10:00	1. 集合 2. はじめのこぼば ・集会活動班の生徒の代表が正面に立ち、「これから合同朝の会をはじめます」と言い、それに続いて全員が礼をする。 3. 校歌斉唱 ・伴奏に合わせてうたう。 4. 朝のあいさつ ・集会活動班の生徒の代表が正面に行き、校長先生の前で、「おはようございます」とあいさつし、全員がそれに続く。 5. 校長先生のお話 6. 今週のめあて ・集会活動班の生徒が正面に立ち、めあてを発表する。 7. 指導部の先生のお話 ・指導部の先生が、今週のめあてについて説明する。 8. その他の先生のお話 ・学校行事担当の先生がその行事の簡単な事前指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級ごとに体育館に入場。音楽に合わせて整列させる。重度重複障害等の児童生徒のそばには学級担任が付き、他の児童生徒には整列を促す。 ・正面に立っている人の方を見たり、身体を向けさせる。 ・「はじめのこぼば」に続き、礼までの動きが行えるように働きかける。 ・一緒に動作をしたり、歌がうたえるよう声がけをする。 ・校長先生の方を見たり、身体を向けさせる。 ・あいさつの動作がきちんと行えるように働きかける。 <p>〈集団の中での個別の配慮〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度重複障害および集団からとび出す児童生徒等には、教師がそばについて、集団の様子を見せたり、一緒に手をとったりするなどして、行動形成の援助を行う。 <p>〈今週のめあて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画、月計画に基づき週のめあてを設定する。 ——10月—— 1. 外で元気に運動しよう。(保健安全係) 2. 当番や係の仕事をしっかりやろう。(視聴覚係)
10:10	9. みんなの歌 「やおやおみせ」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が示す野菜の絵を見ながら、教師の歌に合わせて、一緒に活動できるように働きかける。 ・全く動作をしたり、歌をうたったりしない児童生徒にはリズム感を感じさせるようにそっとたたいたり、単純な動作で身体をゆすってやる。 ・集団からとび出す児童生徒や援助の必要な児童生徒には教師がそばにつき、集団の様子を見せたり、一緒に手をとって遊んでやったりする。
10:15	10. 今週のバラエティ・アクション 「ケンケンパ」 ・ケンケンパの歌 ・ケンケンパの動き 11. 終わりのこぼば ・集会活動班の生徒の代表が正面に立ち「これで合同朝の会を終わります」という。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度重複障害の児童生徒、介助を要する児童生徒には教師がつく。 ・集団からとび出す児童生徒に対しては目を離さない。 ・特別活動係が用意した歌をうたわせる。教師(リーダー)の歌に合わせて、一緒にうたったり、動作をさせる。 ・ケンケンパの歌に合わせて、リーダーが動作を示範する。それを真似させることにより、動きとして覚えさせる。 ・歌の速さを変えて、それに合わせて動作をさせたり、学年ごとなどに抽出して行わせる。 ・賞賛場面を設定し、参加への意欲を高めさせる。
10:30	12. 退場	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて、小学部1年より退場させる。出口に殺到しないよう、順番を守ること、待つこと等を働きかける。

教師集団の働きかけ
省略

特別活動係と生徒の集会班
今週のめあて
指導部と児童生徒の集会班

特別活動係中心に全職員
学級・学年の枠をはずし、子ども

毎週各係で反省し、その結果を職員
の朝の会で確認し次時の指導にいかす。

④ 「合同朝の会」の学習指導案は表
2の通りである。

② 主な活動と係分担
(ア) 儀式的な内容
・進行

(イ) レクリエーション的な内容
・みんなの歌
音楽係と音楽クラブの児童生徒
季節の歌や行事に関する歌を選
んで歌う。
・バラエティアクション

もたちが「歩く」、「走る」の基
本動作を音楽に合わせて模倣し
たり、ゲームやリズム運動をし
る。教師も学級の子どもたちだ
けでなく、多くの子どもと接す
よう心掛ける。

③ 指導形態
全校児童生徒の「生活単元学習」
として実施する。
また、歌やバラエティアクションの実
技研修を全職員で実施し、共通理解の
もとに指導できるようにする。

二十一ページより続き